

ノンテクニカルスキル 実践セミナー

～ より安全な業務遂行のために ～

ノンテクニカルスキルとは、テクニカルスキルを
補い、業務遂行をより安全に、より効率的に
進めるための個人の技能です。
学習・訓練により向上させることができます。

開催日時 **2024年 6月13日(木)** **2024年11月 8日(金)** 東京会場 各回とも 10:00～17:00
会場 日本能率協会 研修室 (東京・港区・芝公園)

対象

- ・ヒューマンエラーを削減したい方
- ・安全意識の高い部下・チームを育てたい方
- ・チームのコミュニケーションを改善したい方
- ・ノンテクニカルスキル向上の具体策を知りたい方

講師 高橋 澄子氏
(株)MOMO 代表取締役
公認心理師・経営コンサルタント
米国CTI認定プロコーチ / 産業カウンセラー
参加料(税込) 法人会員: 55,000円/1名
会員外: 66,000円/1名
※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにて
ご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申し込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえ
お申し込みください。

本セミナーのねらい

航空業界や医療業界では、たび重なる重大事故
発生の教訓から、テクニカルスキル(業務に直結
する専門知識・専門技術)だけでは安全を守れない
こと、事故予防には安全に関わる全員のノンテクニ
カルスキル向上が欠かせないことを学び、ノンテク
ニカルスキルの研究・教育が重視されています。

安全な業務遂行を使命とする製造業の現場でも、
ノンテクニカルスキルの重要性は知られるように
なってきましたが、「具体的な施策や教育方法が
わからない」悩みをよくうかがいます。

本セミナーでは、多岐にわたるノンテクニカル
スキルを理解し、「何に注意すれば良いのか」「何を
変えていけば良いのか」具体的な方法・ポイントに
ついて、講師の実演や受講生同士の実習を通じて
体験的に習得します。

ノンテクニカルスキルの 7要素

- ① 状況把握
正確に観察し理解するスキル
- ② 意思決定
適切な判断を行うスキル
- ③ コミュニケーション
情報伝達・情報共有のスキル
- ④ チームワーク
効果的な協働を引き出すスキル
- ⑤ リーダーシップ
協働を引き出すリーダーのスキル
- ⑥ ストレスマネジメント
ストレス下で働くスキル
- ⑦ 疲労への対応
疲労をリセットするスキル

参加者の声

- ・誰もがエラーを起こす可能性があることが分かった
ので、現場の全員にノンテクニカルスキル教育が
必要だと感じた。
- ・脳の癖や限界からエラーが起こることを忘れずに、
脳が間違いを起こしにくい作業手順や作業環境を
整えていきたい。
- ・部下に積極的に問いかけることで、自問自答し客観
的に見る眼を育てたいと思う。
- ・コミュニケーションを改善するために、具体的に
何に注意すれば良いか分かったので、さっそく部下に
実践したい。
- ・チームの「心理的な安全」の大切さを知ったので、
1人1人が「安心・安全」を感じられるようなチーム
運営を心がけたい。
- ・正直睡眠がそれほど重要だとは思っていなかった。
交代勤務制なので、作業員に睡眠の指導をしたい。

■ プログラム

10:00～17:00 [昼食] 12:30～13:30

1 誰もがエラーを起こす恐れがある

- ・人間の脳と身体との限界がヒューマンエラーを生む
- ・ノンテクニカルスキルの7要素とは

2 間違った状況把握・意思決定を防ぐ

■状況把握・理解の間違いが招いた大事故とインシデント

① 状況把握

- ・状況はこうして間違えて理解される
- ・自分を客観的に見つめるもう一人の自分を育てる

演習

② 意思決定

- ・経験・条件によって意思決定の方法は異なる
- ・正しく意思決定するための支援策を用意する

演習

3 チームの力で安全を守る

■まずいコミュニケーション、リーダーシップが招いた大事故

③ コミュニケーション

- ・コミュニケーションエラーを防ぐ
- ・「安全を守る」話し方・聴き方のポイント

傾聴実習

④ チームワーク

- ・仕事の「安全」を担保するチームの「心理的な安全」
- ・「心理的な安全」をつくるリーダーのコミュニケーション

⑤ リーダーシップ

- ・通常の業務遂行時のリーダーのスキル
- ・緊急事態のリーダーのスキル

演習

4 安全を脅かす心身の不調を防ぐ

⑥ ストレスマネジメント

- ・ストレスが引き起こす身体・精神・行動の異常
- ・自分でストレスをケアする方法

瞑想実習

⑦ 疲労への対応

- ・睡眠の効果と睡眠チェック
- ・交代勤務者に対する指導

睡眠チェック

5 振り返り

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

